町政だより

福岡県筑紫郡
発行所　春日町
電話④1131番
印刷所　福岡印刷株式会社

三十九年度一般会計 一億八千六百六十四万円
役場庁舎、北小屋体 東中プール 建築費を含む

昭和三十九年度の春日町一般会計予算は、去る三月二十七日執行部修正ののち可決されたが、それによると予算規模は前年当初より約三千六百万円多い総額一億八千六百六十四万八千円が計上されている。

経費別では、前年度に引き続き教育費が最も高く全体の三〇・六％、つづいて総務費の二七・三％、土木費の一〇・七％、又民生費は九・〇％、衛生費は六・二％となっており、いずれも前年を上廻っている。

又経常収入では、地方税法の一部改正に伴う増加もあったが、昨夏の旱害による農業所得者の減収が見込まれて大巾な伸びは期待できなかった。にもかかわらず自然増をも含めて対前年対比で一三・五％の伸長率を示し経常収支は大巾な黒字となっている。

又三十九年度の町債計画は一般会計債では、屋体新築の六百万円、庁舎新築に一千六百万円が見込まれており上水道特別会計債の二千一百万円とあわせて合計四千三百万円が計画されている。

建設経費の主なものでは継続事業となっている庁舎の新築、又本年度から補助事業として取り上げられることとなった小学校（北小学校）屋内体操場兼講堂の新築、又三十八年度から継続して施行している春日中学校プール建設と東中学校の増築プール建設などがあって投資的経費は全体の三二・四％を占めている。

又給与改訂などで増員の見込みに伴い人件費は三十八年度決算見込に比較して約一三％上昇し総予算の三〇・〇％にあたる五千三百万六千円が計上されている。

その他では公債費が前年度の四百二十九万六千円から本年度は六百四十八万四千円、約五一％の増額となっているのが目立つが、これは、三十七年度に起こした退職手当債の償還に要する元利金のためである。

概して三十九年度の町財政の見通しは、町税、地方交付税等のいわゆる一般財源の伸びはあっても義務的経費の増加に振り当てられる結果となって余裕財源とはならずむしろこれら消費的経費の絶対額増加のため弾力性に欠け消極的な財政計画ともなることが十分考えられるので、執行部では、今後発生する財源については、補正予算措置の際、零細補助金又比較的効力に欠ける負担金等を極力抑制し投資的経費の増大を計りたい考えである。

又国の行なう地方財政計画でも赤字団体の再建に焦点をあわせており本町のような比較的健全な団体にあっては、財政投融資計画にそぐわない面があって依存財源の確保には大きな期待は持てないのが現状である。

昭和39年度春日町一般会計当初予算調（単位千円）

歳出 費目	予算額	割合%	歳入 費目	予算額	割合%
議会費	11,187	6.0	町税	94,359	50.6
総務費	50,939	27.3	基地交付金	10,412	5.6
民生費	16,828	9.0	地方交付税	45,000	24.1
衛生費	11,543	6.2	分担金負担金	2,379	1.3
労働費	216	0.1	使用料手数料	1,964	1.1
農林水産業費	3,791	2.0	国庫支出金	13,266	7.1
商工費	743	0.4	県支出金	3,577	1.9
土木費	19,900	10.7	財産収入	38	—
消防費	4,461	2.4	寄附金	0	—
教育費	57,171	30.6	繰越金	1,001	0.5
災害復旧費	2,914	1.6	諸収入	632	0.3
公債費	6,484	3.5	町債	14,000	7.5
予備費	465	0.2			
計	186,648	100.0	計	186,648	100

議会々報
39年第3回議会

定例議会（三回）は昭和三十八年度末追加更正予算並びに昭和三十九年度予算案等重要議案二十九件が一括上程され、三月十二日開会し同二十七日閉会した十二日間会期で、元文も陳情書、請願書等の報告があり、議長の開会宣言、会期を二十日間と決定議事に入った。まず町長の施政方針演説、引き続き上程議案に対する説明を細部にわたり各々担当課長が行ない、翌十三日提出議案に対する質疑並びに一般質問を行なった後、上程議案を各々担当委員会に付託、翌十四日より十八日迄各委員会審査に入った。十九日本会議を開き追加議案が上程され、三十八年度追加更正予算及び関係条例等緊急議案のみ可決、

二十日より二十二日迄休会、二十三、二十四日各委員会、二十五日本会議に於て各委員会審査結果の報告を求め、二十六日夕刻と二十七日午前中正副議長は執行部要請に当たり、二十七日午後遅く総括、追加議案三件を上程十九日議決以外の全議案を可決、尚二件の決議を行ない、午後四時四十五分閉会した。

質問

1、役場庁舎問題
2、三十九年度予算の内容について
3、町道路、谷通河川、農林水産施設等管理条例
4、町職員定数条例
5、町駐留軍関係離職者等対策協議会設立条例
6、新予算に対する執行部の法解釈について
7、その他

一般質問事項

1、ナイキ基地問題
2、町内の下排水処理
3、町教育行政
4、町道路行政
5、西鉄春日駅改めプラットホーム延長について
6、白水大池開発について
7、国ケ町消防組合
8、その他

（議案は議会事務局に保管）

交通安全春日町宣言と米駐留軍基地の大巾縮少に伴う補償要請書を決議し政府並びに関係機関代表者に発送した。

補償要請書概要

米駐留軍は日本の敗戦と同時に春日町に駐留をしておるが、その為に町民は不安と騒音に悩まされ続けてきた。今回政府は米軍基地を板付地区に移転させるという事であるが、現在の基地を完全に撤廃するという事が望めない現状では、既存の学校の防音工事並びに基地周辺の環境整備の為の町内幹線道路の舗装を速かに実施して頂きたい。

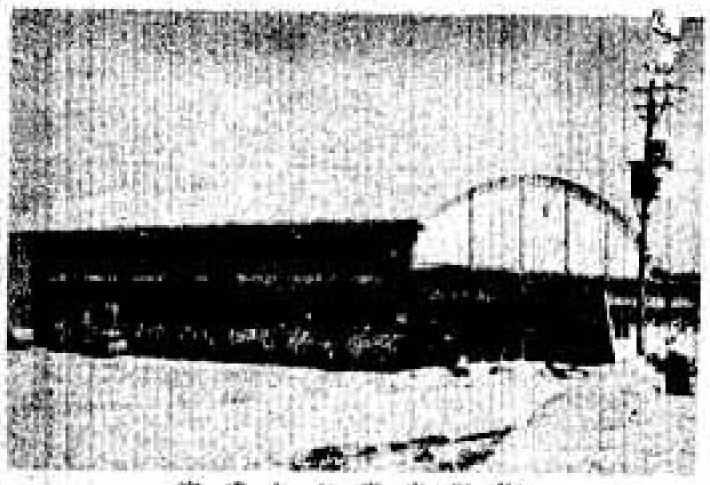
上水道拡張工事すすむ

本町上水道は、去る二月第一次の拡張工事に着手した。これは、未給水区域である上白水、下白水、須玖および春日地域への給水開始と今後の水需要の増大に対処して計画されたもので総工費約五千二百五十万円施設能力は現行の一日最大給水量二、〇一六立方米から三、〇〇〇立方米に増強され、給水区域は町全域にわたることとなった。

財源は総事業費の約九十％に当る四千八百万円を地方債に求め残る四百五十万円を一般会計予算からの繰出金によって措置する計画である。

完成は来年三月の年度末の予定であるが、早い地域では今年の夏一部給水が行なえるよう工事を進めている。

開閉着工事負担金は、同事業が公営企業の建て前から前年納入を水道課では強く希望しており需要者の協力を求めている。



完成した東中屋体

東中学校に 体育館兼講堂が完工

待望久しかった東中学校の体育館兼講堂が三月三十一日に完工した。

総工費一千八百五十五万三千円、三十八年十一月着工、五ケ月間を要して、三百四十五坪、鉄筋一部鉄骨造りの中学校体育館としては他に類が無いといわれている。

同中学校にプール建設工事すすむ

今夏夏休み前完成を目ざして工事が進められている同プールは二十五米七コース、機付脱衣場が含まれている。

春日・白木原線道路改良工事完成近し

昭和三十八年度施設整備等調整関係春日・白木原線道路改良事業及び天田橋県整備事業は去る二月初旬着手し、道路の一部を残し完成の運びとなりました。

工事内容は、春日・白木原線道路改良工事
延長四〇八米・巾員六米、工事費九百九拾五万円

天田橋橋梁整備事業
橋長十九米、巾員六米、工事費六百九拾七万円で国庫補助率八割、町費負担二割を以って施工したのであります。

本橋が完成の暁には国鉄白木原駅に通ずる主要幹線となり、産業・経済の発展に寄与するところ大なるものがあります。

災害復旧事業終る

昭和三十八年六、七月の豪雨に依る公共土木施設災害復旧事業及び農林水産業施設災害復旧事業は昨年十二月に工事着手年度末を以って完了致しました。公共土木施設災害復旧事業は国庫補助六割六分七厘で三割三分三厘を町負担、農林水産業施設災害復旧事業は国庫補助六割五分、町負担一割七分五厘、地元負担一割七分五厘を以って施工せしもので実施箇所左記のとおり。

公共土木施設災害復旧事業

一、諸岡川（千才町光町間）災害関連事業
一、諸岡川（竹ケ本）災害復旧事業

農林水産業施設災害復旧事業

一、下白水細ノ原溜池工事
一、須玖岡本薬師水路工事
一、須玖宮の前水路工事
一、須玖多高田水路工事
一、須玖北沈砂水路工事
一、下白水六反田水路工事
一、下白水大上堰水路工事
一、下白水毛瀬水路工事
一、下白水大上何ビケニ土
一、岩崎水路工事
一、須玖岡本水路工事
一、下白水坂瀬溜池工事

あなたはごぞんじですか 国民年金のよいところ

一つ　五割の国庫負担

かけ金、かけ金といろいろいわれるが、かけ金には五割の国庫補助（負担）がつけ加えられしかも利子もつく。どんな投資よりも有利な金の卵といえましょう。

二つ　成長株の年金額

竹の子、いくいくはスクスク成長して、必ず年金額も多くなる。現に月一万円年金の声も聞かれます。

三つ　一つのかけ金で六つの年金

国民年金は年よりの年金だという人もありますがとんでもない。月百円、百五十円のかけ金で老令年金のほか、まさかの時の障害年金、母子年金、遺児年金、寡婦年金など六つの年金が用意されているのです。このほか死亡一時金もあります。

四つ　金の切れ目が、縁の切れ目にならないよう、免除制度

長い人生にはいろいろの浮き沈みがありましょう。もしかけ金が納められなくても免除の制度があり、免除申請することにより金の切れ目にならず必ず年金が受けられます。

五つ　各種公的年金との通算もある。

国民年金以外の年金に中途でかわってもじゅうぶんな通算方式で通算しますから全く損になりません。この外まだまだよい処はたくさんありますが、ともかく皆さんのための社会保障制度の一つです。力を合せて大きく育てて行きましょう。

お知らせの欄

商業統計調査について

商業統計調査が七月一日に実施されます。

この調査は商店の分布状況、商業活動などを調べて商業政策を立てる上の基本的な資料として利用されるものです。

調査員が各商店に調査票を配付しますのでありのままを記入するようご協力下さい。

電気工事士の試験

昨年より電気の配線工事従事者は電気工事士の免状を所持しなければ作業が出来なくなりました。

このたび昭和三十九年度電気工事士試験が次の要領で実施されます。

記

一、試験期日及び場所
筆記試験八月二三日（日）
技能試験一一月一日（日）
場所　県立福岡高校

二、提出書類
願書、受験票（写真貼付）封筒（十円切手貼付宛先明記）受験料・千円
資格証明（筆記免除者のみ）

三、受付期間
七月一日より末日迄

四、提出先
福岡県商工水産部商工鉱二課（福岡市天神町一丁目一の一）

五、その他
詳しい事は県商工部工鉱二課④三七三一又は町経済課商業係④一一三一へ御問合せ下さい。

蚊や蠅を退治しよう

夏季で最も不快な蚊、蠅等の害虫を駆除するため、各地区に週間消毒を実施しております。

消毒、側溝、竹藪や塵埃の場所などを主体に、外部からの発生を防止するためのもので、この際より効果を挙げるために週間消毒と同時に家庭での害虫駆除を行い環境の浄化に協力されるようお願いします。

本年は特に日本脳炎の多発が専門家より予告されておりますので、消毒員が気付かない発生源などがあれば巡回の時に指示して下さい。

結核検診を受けましょう

結核検診は結核が個人的にも社会的にも害を及ぼすことを防止するため、結核予防法によって早期に発見し任同、福祉の増進をはかるものです。

ただいま各家庭に配付しております結核検診調査票に正確に記入して早目に役場に到着するよう総務課に提出して下さい。

検診は七月七日から実施の予定です。職域で検診を受けない方は全員残れなく受診して下さい。

日時場所などの細部については回覧文書でおしらせします。

駐留軍離職者経営資金の利子補給について

駐留軍離職者が個人または法人で行なう事業で、資金を借入れて経営するものについては利子が補給されます。

これは福岡県駐留軍離職者および駐留軍関係離職者企業振興資金利子補給に関係する規定が適用されるもので離職後三年以内に事業を開始し資金百万円以内の部分について予算の範囲内で年五分以内の利子を補給しようというものです。

なお詳細については福岡県商工部一課金融係④三七三一または春日町役場経済課商業係④一一三一に御問合わせ下さい。

第四回体育大会

人も球も泥まみれ
参加選手千数百人
婦人の部は総合運動会

五月十日恒例の本町主催第四回町民体育大会は町内小、中学校及び千歳町、光町、自衛隊病院、NHK春日放送所を会場に、七種目千数百人の参加を得て実施した。

前夜に時折「しぐれた空模様もどんより曇り各会場とも定刻一斉に試合開始。老若男女和気あいあいとした歓声が春日野にこだまし順調にスタート。婦人の部は今年から総合体育レクリェーションとして運動会を実施、千歳、永田、立石、若葉台の婦人会未加入地域が組織的に参加して内容的に一段と充実。剣道も剣友会が組織をあげて参加。百名に及ぶ剣士で本中体育館は満員の盛況。心配していた雨が十一時過ぎ遂に降り出し、子供会サッカーボールは午前中に完了、婦人運動会は三種目を残して閉会。正午過ぎから雨の脚も多くなったが試合は続行。全会場とも雨と泥まみれになりながら斗魂を燃し青年は試合完了したが、子供会及び一般のソフトボールは午後四時遂に試合を中止、十七日に持越した。

十七日の日曜は薄曇りの試合には絶好の日和り、気分を新にした各チームは各試合に好ゲームを展開正午過ぎ全試合を終了した。

この大会を実施するに当って自衛隊病院グラウンド並びにNHK春日放送所グラウンドを特別の御配慮を頂き予定通りの試合運営に御援助頂き、この偉大会を実施するに当って各方面に亙って多大の御援助協力を頂いた。

成績はつぎのとおり

一般ソフトボール
優勝　桜ケ丘チーム
二位　小倉チーム
三位　下白水チーム

青年ソフトボール
優勝　春日チーム
二位　欽修寮チーム
三位　須玖チーム

子供会ソフトボール
優勝　岡本寮チーム
二位　春日チーム
三位　桜ケ丘チーム

卓球の部
優勝　永田チーム
二位　須玖チーム
三位　下白水チーム

子供会ドッチボールの部
優勝　永田チーム
二位　欽修寮チーム
三位　昇町チーム

テニスの部
優勝　松本、竹内組
二位　熊島、村実組
三位　古賀、渋谷組

剣道の部
小学校の部
優勝　島村幸治
二位　臼信義彦
三位　白水伸一
中学校の部
優勝　木村　毅
二位　伊藤盛夫
三位　石橋規二
一般の部
優勝　中村英樹
二位　栗山康雄
三位　板鋳孝一

町民体育大会婦人の部

生活の余暇を青年学級に
—学級生募集—

「春日町公民館で実施している青年学級を、更に発展させ、みんなが参加できて有意義な学習活動が行なえるようにするためにはどうすればよいか」ということでこのほど各地区青年団代表による開設準備会を設けて研究協議を行なった結果昨年までの小学校区三学級五科目制を改めて、両中学校区にしぼりコース制による年間計画を定め、次の様に学習活動をすすめることになった。

一、春日中学校区青年学級
○一般コース
6月　開講式
7月　野外生活
8月　水　泳
9月　郷土史研究
10月〜12月　生活設計
1月〜2月　町政学習
3月　閉講式
○専科コース
生花1　春日小学校区
　　2　春日北小学校区

二、春日東中学校区青年学級
地域性を考慮して慎重に計画を進めているが一般コースは大体春日中学校区学級に準じたもの。
○専科コース
生花、料理の他に、春日原地区商店街の店員を対象とした商業学習をとり入れるよう計画。

以上の様な計画で、開設期間は今年六月一日から翌年三月三十一日迄とし、対象者は町内居住者で未婚の青年、月謝は原則として取らない。希望者は、地区館長経由して町公民館へ申し込み下さい。不明の点は町公民館へおたずね下さい。

婦人学級開設
学級生募集中

三十八年度の閉講式で婦人学級のあり方等を全体討議で研究し、その後新年度に入って各学級で準備委員

大会に於て、約八十名参加のもとに実施する。

を選出し協議検討して三十九年度婦人学級学習計画を立案しました。もう既に各家庭に回覧して御覧になった事と思いますが、この機会に一人でも多くの方に参加をおすすめ致します。

三十九年度計画の概要を記しますと、

ときわ学級
対象者　五十才以上婦人
開設場所　昇町公民館其他
主題　健康で適当に楽しい余暇を送り明るい生活を営むために

若妻学級
対象者　農家地域の若妻
開設場所　昇町公民館其他
主題　若妻の実際生活に必要な知識と技術を習得し健全な家庭づくり

春日校区学級
対象者　春日校区婦人
開設場所　春日町公民館其他
主題　心身共に健全な社会人である為に

北校区学級
対象者　北校区婦人
開設場所　岡本公民館其他
主題　心身共に健全な社会人であるために

東校区学級
対象者　東校区婦人
開設場所　千歳公民館其他
主題　健康で明るい家庭を築くために

春日原校区学級
対象者　原校区婦人
開設場所　春日原公民館
主題　教養の向上と地域の社会生活を学び体験する

開設期間は三十九年四月より四十年三月迄で毎月一回大体年間通じて四十時間前後の学習時間となる。学習内容はすべて生活と密接したものが取り上げられ学級生自身の学習の場である事が特徴。

此の外に春日、東中学校区にコーラス学級を開設しますので参加されるようおすすめします。

各地区の委員は左記の通りですので委員を通して申込み下さい。

地区委員

ときわ学級（敬称略）
上白水　金堂ちり子
下白水　白水ミサオ
昇町　永田　イワ
小倉　白水　とき
須玖　鬼倉とみ子
岡本　古賀　良子
桜ケ丘　藤井美恵子
立石　加福　コロ
春日　梅田　千代

若妻学級
上白水　河鍋さつえ
下白水　柳　春子
昇町　山下　富子
小倉　松尾　良子
春日　白水　鶴子

春日校区
上白水　勝野ゆきえ
下白水　小川さかえ
昇町　戸渡　久子
小倉　成富　綾子

北校区
須玖　金子すま子
岡本　梅珠スミエ
桜ケ丘　馬水　秀子

東校区
立石　杉山　和枝
若葉台　古賀　富子
春日　白水　千代
永田　三野　定子
千才町一丁目　森トメノ
　　二丁目　初谷とのえ
　　三丁目　吉後　つね

春日原校区
春日原　松本とみ子
春日原南　惟井
筒井　山下

委員未選出の地区は地区館長又は町公民館に直接申込み下さい。電話(宮)十三〜三(公)五八〜一二一一

たき火囲んで
ジュニアリーダー講習会

去る六月十三・四月の両日にわたり、白水大池畔の斎台に於て、リーダー及び指導者等、約五十名が出席して、ジュニアリーダーキャンプ講習会を実施した。

これは例年町公民館が実施しているもので、今年は両中学校区別にし、第一回目は東中校区リーダーを対象として行ったものである。

当日は朝からうっとうしい梅雨空で時おり、強い雨に見舞われ、一時は実施を見合せた位だったが、リーダー達の強い希望もあり、大雨に対する装備を講じて実施にふみ切った。

この雨のため日程が大分おくれたが、テントを張る人、食事の準備をする人、みんなでテキパキと行動して、夕食のカレーライスに舌づつみを打つ頃には、日程も平常となり、又雨の心配もうすらいだ。

キャンプファイアーのほのぼのが夜空をこがし、楽しい班対抗の戦に興ずるうちに第一日目を終った。

二日目も雨間らずくもり空ではあったが無事全日程を終える事が出来た。

尚、春日中校区は六月二十、二十一日、同じく白水

校区選抜青少年野球大会のお知らせ

第三回青少年大会を八月二日の日曜に春日中学校、春日小学校で実施。

この大会は各校区毎に七月十九日に大会を実施して上位二チームを選出して行なうもので、

チームの編成は中学校卒以上二〇才以下五名、二一以上二四才迄四名とし、青年中間の人々を主メンバーとし日常生活で余り出場の機会が多く無い人々のために計画したもの。

多数の応援をお願いします。

町の年輪
立　石

陸軍小倉工廠の工員住宅として作られた地域、光町広場も戦後の食糧難のときは野菜畑であった。

生い立ち　立石の地域は小倉街道より春日部落に通ずる小高い字立石の東宿にきびしい野中の一本道を中心に昭和十七年大東亜戦争の中盤頃、小倉陸軍工廠春日原分廠の建設に伴い永田部落に次いで軍の要請により住宅営団が工員住宅として急造したものが中心になっている。団地竣工から昭和二十五年頃迄は殆んど営団住宅のみの部落で、以後漸次周辺に個人住宅が建築され次第に膨張して本日に至っている。当時の営団住宅は戦時中の資材欠乏の時期で、そのうえ竣工期日を短期に指定した強引な工事であったので工事の粗雑さは否み得ない。特色として戦時中で防空に留意の結果、十二棟組の中、九、十を除き、悉く棟を斜面に対して斜にして迷彩してあった。

飲料水　この地は以前は田であった時、地下水が浅く水質が極めて悪いので飲料水としては不適な為、職長宅に水の配給を要求したがその蛇口数全戸を通じてわずかに只二ケ所であった。その為バケツをさげての水汲みが毎日長い列をつくった。戦後水道組合を結成して逐次「立上り蛇口」を二十ケ所作ったが、これは町長を通じて調達庁に運動して苦心したもの。

しかしその「パイプ」は一時の鉄管であった為半年もすれば錆びついて使用不能となり各戸から一人宛出役し、全部パイプを掘り起してヴィヤーブランを通じて大掃除をしたものである。

このように水に難儀した地域の人達にとって昭和三十六年の町営水道は正に福音であった。この地域の歴史は正に水の歴史であった。

住宅営団の解散　昭和二十二年に家賃値上、分譲対策等のために住宅組合を結成し現地を購入した。その後住宅営団の解散に伴い入居者全員に対し、昭和二十三年と二十四年に亘って住宅が分譲された。

戸数　住宅営団が建築したときは二二五戸で一組から十二組迄であったがその後漸次住宅が建築され昭和三十八年四月現在四二九戸となっている。

仲良し広場　戦時中から食糧難の二十四年頃迄野菜園となっていたが、二十五年頃から「仲よし広場」と命名、植樹、花壇等が創られている。尚三十九年四月から五号線以西は若葉台として分離独立した。

PTAに初めて入会する父兄へ

PTAは父母と教師の会であり、こどもをよりよく育てるためには、親も教師も勉強をしなければならないしそのためには父母と教師が心から手を結んでこどもの立場にたって話し合ってゆくことが最も大切なこと。又学校や家庭だけでなく地域を通じて子供達のよい人間形成がなされなければならないので、こうした必要からPTAは生れたものです。

PTAの会員はおたがいに平等であり、平等な義務を果さなければなりません。

運営や行事は役員や委員任せばなしではなく、会員一人一人が自覚をもって参加するものでなければ意味がありません。活動は他の人が行なうものではなく会員各員がそれぞれ活動することから出発しなければなりません。こどもの教育に関する身近な問題を、自分達で話し合い考え合い、助け合って解決してゆく活動が望まれるわけです。

入会後は規約を充分研究することは勿論のこといろいろの集会に参加する場合つぎのような点について考える必要があります。

○　みんなの子を通じて自分の子供を考える
○　集団のなかにおける子供の行動をみながら、わが子を理解する
○　一教師、一父兄という結びつきではなく親たち教師たちの結びつきとなるよう努力すること
○　会員は平等な立場で相互に理解し尊敬しあうよう心掛けること
○　服装に対する「見え」や「ひがみ」を捨てて気楽に話し合うこと